千葉市議会議員（稲毛選挙区選出）

小松崎ふみよし 政策ジャーナル Journal

Vol.110

行動派宣言

KOMATSUZAKI FUMIYOSHI 2020

みなさんの広い意見を募集しております。

-御挨拶-

「新型コロナはただの風邪」という意見もある一方で、「風邪の症状すらなくてもＰＣＲ検査を国民が皆受けるべき」と主張する意見もあります。菅義偉内閣が誕生し、地方議員の経験も活かし、適切な対応が期待されます。

日本をはじめ一部の国を除いて、アジアでは死者が少ない状況にありますが、欧米では多くの方が亡くなっています。ウイルスの突然変異等があればとても安心できる状況ではありません。ただ症状はないが心配なので、という理由では、約70％精度のＰＣＲ検査を毎日行う事になります。

重要な事は、ワイドショーや不正確なネット情報等に惑わされず、正しく恐れる事です。インフルエンザでも重篤化すれば毎年多くの死者が出ています。感染リスクの高い高齢・持病のある方に感染させない様に注意し、症状の出た方、その周辺の方には皆検査を受けられる体制が必要だと考えます。新型コロナ感染拡大後、臨時議会や要望活動等で主張し、決定した事項と以前に会派要望を行い増設された京葉道路付加車線についてもお伝えします。世襲ではなく、足元の確かな叩き上げ精神で努めます。

●令和２年第１回臨時議会で決定した主な感染症対策●

●今後改善に努める事項●

免許センター

・運転免許更新時の滞在時間の短縮（適正検査のみ行い、講習はリモートにすべき）
・公共交通、飲食店（接待なし）等への更なる支援。衰退すると雇用・社会システムも崩壊する。

❶ 中小企業者事業継続給付金　国費 44000 万円

感染拡大の影響により売り上げ減少率 50％に及ばず持続化給付金の対象外となった事業者に一律 20 万円給（9 月から申請開始）

❷ バス・タクシー支援　国費 8300 万円

運転手育成　3500 万円　　路線バス維持助成　4800 万円

私は「運転手は供給過多」と、都市建設委員会で問題提起しましたが、ほかの議員からも同様の指摘が相次ぎ、担当局長から「残った費用はバス路線維持に回す」と答弁を得て提案に賛成しました。

❸ ＰＣＲ検査強化・保健所運営効率化のため外部委託

国費 7457.2 万円　県費 2294.7 万円　市費 3967.5 万円

（１）業務感染で休止した診療所再開に 100 万円支援
（２）ＰＣＲ検査関連・市民相談業務の外部委託
（３）冬場の感染拡大に備えＰＣＲ検査試薬の購入

❹ 社会福祉施設に簡易陰圧装置設置を助成 県費 19872 万円

簡易陰圧装置 11 施設予定×432 万円（定員を上限）　補助

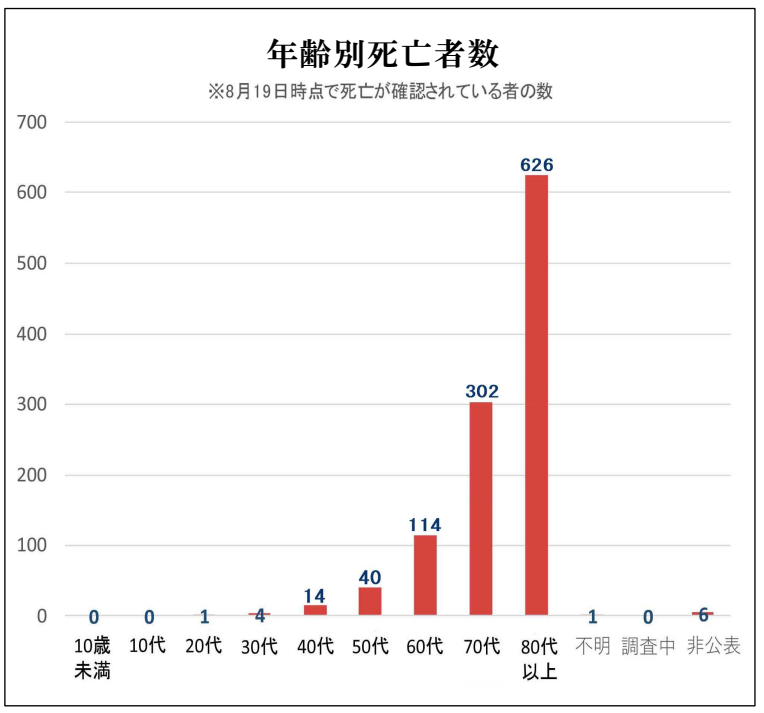
❺ 在宅高齢者・障害者同居家族が陽性時のサービス継続支援

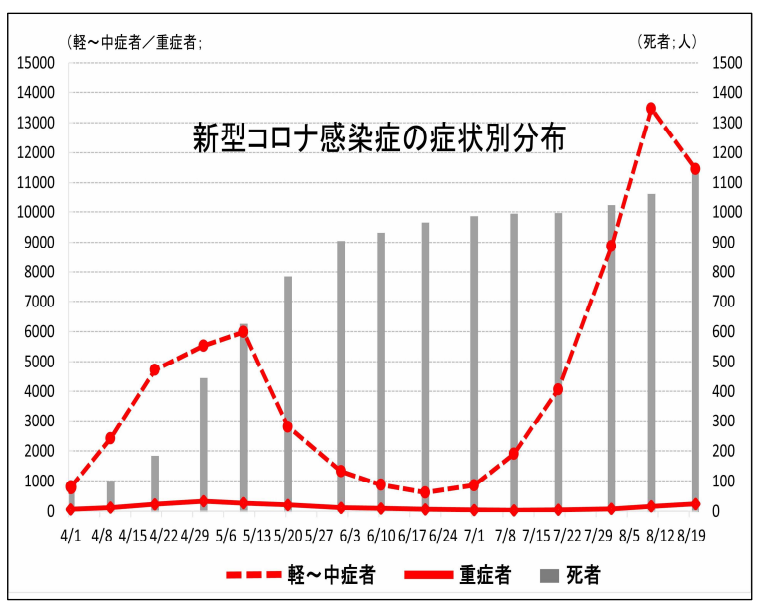
国費 1070.4 万円

事業所・ケア計画作成・支給限度額超えのケア提供への支援

❻ 感染症対応の防災システム改修　国費 1300 万円

災害情報、インフラの被害状況 、避難所別避難者数、感染症関連情報の地図表示で分散避難を誘導





●都市建設委員会で●

動物公園におけるコロナ対策についての議事の際、「検温測定装置を避けて入園する来園者がいる」との報告がありました。それに対し私の「測定装置を故意に避ける入園者を断れないのか？」との質問に対し、「公園なので断れない」と答弁があった。「熱がある人・検温しない人は、待合室入場に留めるべき」と要望しました。この質疑により現在は職員が検温測定装置を移動し、避けて入園する人はいなくなりましたが、徹底した高体温来場者対策を引き続き求めていきます。

➥ 表面からのつづき「令和２年第１回臨時議会で決定した主な感染症対策」

❼ 防災備蓄品の増強（耐震基準適合 400 町内自治会集会所） 国費 2018.8 万円
集会所あたりの備蓄数量【200 食】飲料水（500 cc）【192 本】

❽ 町内自治会集会所を避難所に活用する為情報連絡設備の設置 国費 4752 万円
防災行政無線戸別受信機設置費（10.8 万円×400 機×1.1 税）

❾ 在宅勤務等リモートアクセス環境の強化 国費 8700 万円
緊急事態宣言下でも市役所機能維持のため。庁外から CHAINS（市役所システム）に接続するための通信機器現行 100 台を、新たに 900 台追加整備し、合計 1,000 台に拡充する。

❿ 感染症対策備品の拡充 国費 25800 万円
各教室へ加湿器の設置。全校集会などを各教室で行うための映像発信設備の設置

⓫ 市立学校の特別教室にエアコン設置 国費 260217.8 万円
小・中・特別支援学校の理科室、家庭科室、美術室等の特別教室にエアコン設置

⓬ 在宅保育支援 国費 1050 万円
3 歳未満児を市内在住の祖父母が預かる場合、１か月あたり１万円を支給すると共に、月に一度は市立保育園に登園して状況を確認。保育施設や人材不足対策の為にもなる。

COVIT-19
症状度の分類

●軽　症
発熱・咳等

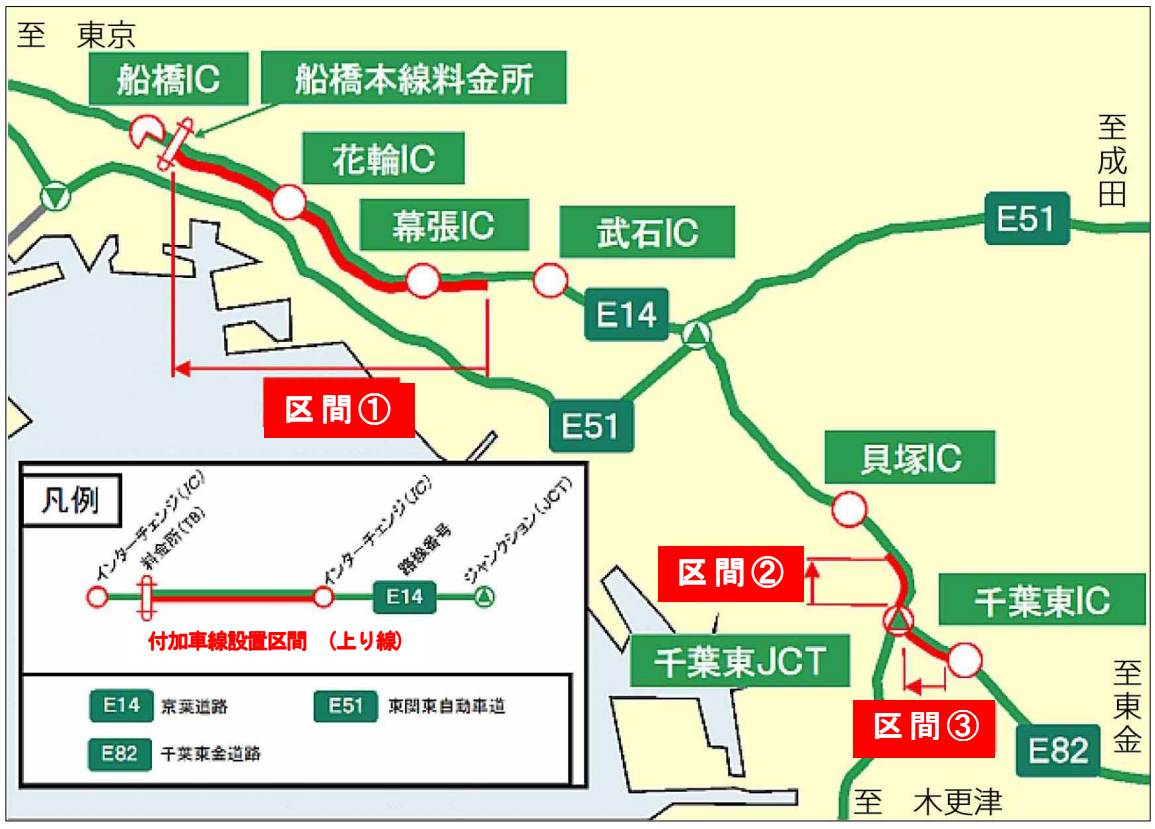
●中等症
息切れ・酸素投与

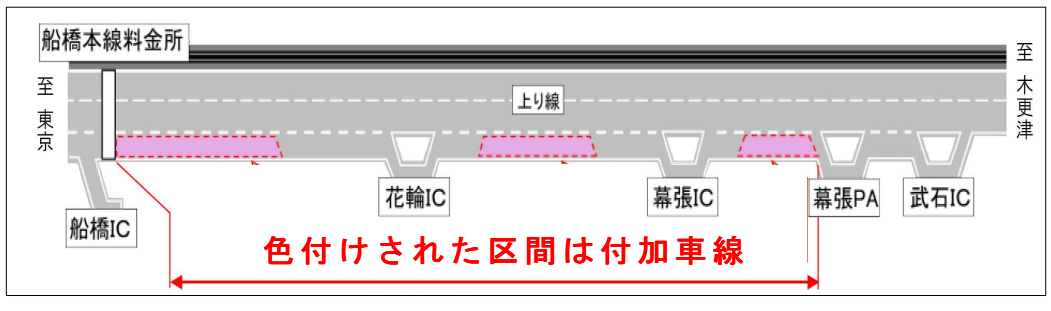
●重　症
ICU・人工呼吸器必要

●８月４日(火)から京葉道路の付加車線が運用開始しました●

平成 26 年自民党会派で「京葉道路穴川・貝塚区間への付加車線設置」の意見書を提出した結果、平成 28 年より供用開始されました。当時会派で併せて要望した幕張付近・千葉東 JCT 不付近も開通を報告致します。

一方で千葉北 IC 出口・湾岸千葉 IC 出口・上下船橋料金所（下り付加車線も必要）は、ETC 利用者が 90％以上にもかかわらず ETC レーンが絶対的に不足しています。特に千葉北 IC 出口では 6 レーン中、2 レーンしか ETC が無く、やむなく ETC カードを外して一般レーンに回る等、渋滞の原因となっています。今後も各方面と相談しながら渋滞軽減実現に努めて参ります。





付加車線事業概要

■区間①京葉道路(上り線）武石ＩＣ⇒船橋ＩＣ
付加車線を設置することにより区間全体の交通容量が増加することに加え、各ＩＣ入口から本線へ合流する際の車線変更がスムーズに行えるようになるため、渋滞の緩和や、交通の定時性・安全性が向上するといった効果が期待できます。

小松崎ふみよし・プロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園（現在､評議員）
千葉市立山王小･犢橋中学校、
千葉県立千葉北高等学校卒業
（現在　同窓会副会長）
法政大学法学部法律学科卒業
（現在校友会千葉中央支部常任幹事）

職　歴
衆議院議員うすい日出男秘書 10 年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員(稲毛区選出)4 期当選
千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
現在
千葉市社会福祉協議会山王地区部会長
自民党千葉市青年局長

37 地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市アーチェリー協会会長
県美容業組合千葉支部顧問
千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市総武リーグ顧問
社会福祉法人愛の園評議員

＊　事務所

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 112-1
電話:043-424-0001　FAX:043-421-6667
E-mail : info@2344.jp　　HP URL: 2344.jp
（現在時勢を考慮し、留守番の方がおりません、御用の方は電話の上お越し下さい。
不在時は小松崎本人の携帯に転送）
お問合わせ･ご意見をお待ちしております。